

第 31 回三遠南信サミット 2023 in 遠州

第 2 分科会 報告書

1. テーマ

人口減少克服に向けた地域間連携

2. 概要

広域連携の移住等の事例を参考に、人口減少に伴う各地域の課題と取組を共有し、人口減少という大きな社会課題を克服するために有効な地域連携の在り方について意見交換を行い、持続可能な生活圏の形成に向けて議論を行った。

3. 日時

令和 5 年 10 月 30 日（月） 午後 1 時 00 分から午後 2 時 30 分

4. 会場

グランドホテル浜松 2 階 飛鳥の間（静岡県浜松市中区東伊場 1-3-1）

5. 登壇者一覧

No.	所属	役職	氏名	役割
1	法政大学国際文化学部	教授	高柳 俊男	コーディネーター
2	上伊那広域連合	事務局長	唐澤 直樹	事例紹介者
3	南信州広域連合	事務局長	吉川 昌彦	事例紹介者
4	東三河県庁（愛知県東三河総局）	企画調整部長	長谷川 勝春	事例紹介者
5	蒲郡市	市長	鈴木 寿明	発言者
6	東栄町	町長	村上 孝治	発言者
7	御津町商工会	会長	竹内 幹尚	発言者
8	森町	町長	太田 康雄	発言者
9	天竜商工会	会長	大村 邦男	発言者
10	根羽村	村長	大久保 憲一	発言者
11	売木村	村長	清水 秀樹	発言者
12	天龍村	村長	永嶺 誠一	発言者
13	伊那商工会議所	会頭	唐木 和世	発言者
14	浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会		上嶋 裕志	発言者
15	おどもカフェ		尾崎 真理子	発言者

6. 議論内容

(1) 事例紹介 (13:07~13:42)

ア 長野県上伊那地域における「若者人材確保」の取り組みについて (上伊那広域連合)

上伊那地域の企業、団体、県、市町村、広域連合の19団体で実行委員会を立ち上げ、企業と若者の接点づくり、少子高齢化対策と地域産業の発展につながる若者の定着促進を進めている。

イ 南信州広域連合の移住事業について (南信州広域連合)

飯田下伊那14市町村に関係する自治体等で「南信州暮らし」応援隊を結成し、地域の暮らし・魅力の体験や地域の認知度向上、つながり人口創出に向けた取組を進めている。

ウ 東三河地域が一体となった移住定住・関係人口の促進について (東三河県庁)

東三河県庁と市町村、広域連合、経済団体等15団体が2022年度からプロジェクトチームを設置し、東三河地域が一体となって関係人口や移住・定住の創出に取り組んでいる。

(2) 発言者による議論 (13:42~14:30)

ア 人口減少に伴い顕在化してきている課題と主な対策について

イ 人口減少克服のために地域連携で取り組むべきことについて

(3) 議論のまとめ (14:30~14:35)

7. まとめ

人口減少による地域コミュニティの活力低下や担い手の不足、学校や店舗、医療機関等の減少、交通弱者の増加など様々な課題がある中で、各自治体において対策に取り組んでいる状況や移住に向けた関係人口・つながり人口づくりと、既に様々な人を呼びこみ、地域の魅力を作りながらまた新たな人を呼びこんでいる様子を共有した。

議論の中では自治体を越え、地域全体で様々なものを資源として活用・循環させるという考えや、各地域での取組や広域連携で補完したいことを情報発信し、共有すること、特に県を越えて連携し情報発信を行う必要があるとの発言があった。

本日の議論を踏まえ、地域内の様々な取組により三遠南信地域の魅力を高め、多くの人に関心を持ってもらいこの地域の認知度が高まるよう、SENAを構成する全ての主体が連携して情報発信等に取り組むことを確認した。

8. 当日の様子

